

Title	大阪大学低温センターだより No.58 裏表紙
Author(s)	
Citation	大阪大学低温センターだより. 58
Issue Date	1987-04
Text Version	publisher
URL	<a href="http://hdl.handle.net/11094/21227">http://hdl.handle.net/11094/21227</a>
DOI	
rights	

*Osaka University Knowledge Archive : OUKA*

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/repo/ouka/all/>

## < 編集後記 >

超伝導遷移温度 ( $T_c$ ) が急上昇して、関係者は大騒ぎです。

A 「3月末から4月始めの学会シーズン。どこの学会も関係セッションは超満員だったですね。」

B 「予定時間をはるかに越えて、講演・討論が続いたそうですね。」

A 「大変な好機だと思って、私のグループも材料をつくっていろいろ測定しました。今も頑張っています。同じなら踊らにゃ、という心境ですね。」

B 「続けて来た研究を急に放り出して、やる気になれませんでした。ゴールドラッシュを思いましたよ。」

A 「やるからには、常温超伝導材料を見出して、統一的説明を与えて、ノーベル賞をとりたいですね。」

B 「あんまり逸り過ぎて、故意に過ったデータの発表をしないで下さいよ。」

こんな会話がキャンパスでも学会場でも、あちこちで聞かれました。

本誌の編集委員会でも話題になったことは言うまでもありません。

低温センターも新しい時代を迎えることになるのかも知れないな、とふと思ったりしました。

(山本雅彦)

- 低温センター運営委員の一部交代について  
産業科学研究所 中村勝吾氏より中島尚男氏へ
- センター長、副センター長の交代について (4月1日付)  
低温センター長 三石明善 (工学部)  
副センター長 伊達宗行 (理学部)  
次号に運営関係者リストを掲載します。
- 低温センターだより編集委員の追加  
工学部電子工学科 谷口研二氏

大阪大学低温センターだより 第58号

昭和62年5月 発行

編集責任者 柳 田 孝 司  
発 行 者 大阪大学低温センター  
吹田分室 大阪府吹田市山田丘2番1号  
電話 (06) 877-5111 内線4105  
豊中分室 大阪府豊中市待兼山町1番1号  
電話 (06) 844-1151 内線2162

印 刷 所 阪東印刷紙器工業所  
大阪市福島区玉川3丁目6番4号  
電話 (06) 443-0936 (代表)

# 目 次

No. 58

## 研究ノート

ダイヤモンドの話	理 学 部	萩原 政幸	1
超塑性変化における粒界すべりの役割	工 学 部	古城 紀雄	4
強制冷却超電導体の安定性	低温センター	山本 純也	7
超電導線材を用いた磁気遮蔽の研究	産 業 科 学 研 究 所	西嶋 茂宏 岡田 東一	11

## 実験メモ

低温での機械的試験のための試料交換法	工 学 部	片岡 俊彦	15
--------------------	-------	-------	----

昭和61年度寒剤供給状況			17
--------------	--	--	----

表紙の図説明：超電導線材を用いた板状磁気遮蔽体。二枚の銅板を銅パイプで連結し、その間に超電導線材でできた編目状遮蔽体を配置している。遮蔽体の剛性を持たせるためと、安定性を持たせる目的で、銅のパイプでヘリウムの流路を確保しつつ断面二次モーメントを大きくしてある。また使用した超電導線材は連続の一本の線材である。(本文11ページ参照)